

平成25年度「自主防災・特別支援部会」のとりまとめ

☆平成25年度のテーマ:要援護者支援及び避難所の開設・運営に関する課題

【方針・目標】

- ◎ 災害発生時の要援護者の安否確認や避難支援、避難所での対応等についての課題を検討する。
- ◎ 避難所開設・運営訓練実施に向けての考え方や実施内容、実施経過等を部会で報告し、意見等を訓練にフィードバックしていく。

第1回 部会

- 日時**
平成25年8月7日 15時～
- 出席人数**:17人
- 議題**
- 1 あいさつ
 - 2 平成24年度までに整理された課題と今年度の取組
 - 3 地域での災害時要援護者の支援体制づくりについて



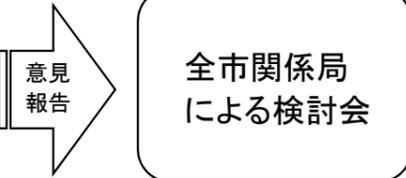
第2回 部会

- 日時**
平成25年11月18日 15時～
- 出席人数**:20人
- 議題**
- 1 あいさつ
 - 2 地域での災害時要援護者の支援体制づくりについて
 - 3 避難所開設・運営訓練について



災害時要援護者避難支援制度説明会

- 日時**
平成25年12月9日 14時半～
- ☆1、2回の部会を踏まえ、区内自主防災組織を対象に今後の支援体制づくりの参考にしてもらえるよう説明会を開催



第3回 部会

- 日時**
平成26年2月20日 15時～
- 出席人数**:16人
- 議題**
- 1 あいさつ
 - 2 平成25年度 自主防災・特別支援部会の活動まとめ
 - (1) 要援護者支援関係
 - (2) 避難所開設・運営訓練関係

その他関連事項

- 外国人の健康と暮らしを考える健康診断&相談会(主催:多文化共生センターかわさき 3月16日)において多言語版「備える。かわさき」ポータブルを作成配布。
- 市と「アサヒビール シルバースター」が「災害時における応援に関する協定」を締結(3月18日)

【要援護者避難支援関係】

- 1 第1回部会
 - 川崎市災害時要援護者避難支援制度を中心に地域での支援体制づくりについて検討する旨提案
 - 同制度について、登録申込書等を用いて制度内容や申請要件等を確認
 - 支援組織を対象としたアンケート調査(平成23年8月実施)から見えてくる課題を共有
 - 助け合いの仕組みや他都市の事例の紹介(日本防災士会)
 - 意見交換
- 2 第2回部会
 - 「どのようにしたらこの制度に対する支援組織の取り組みづらさや疑問点を解消・軽減できるのか」という視点から論点ごとに部会としての考え方を整理。
 - ↓
 - 町内会等支援組織にフィードバックし、各団体が取り組みやすい方法や、やり方を探る材料に。
 - 論点ごとの整理
 - ①個人情報の問題
 - ②町内会・自治会と民生委員児童委員の役割分担
 - ③家族と同居している対象者、施設入所者/転居者への対応
 - ④支援のアイデア
 - 鋼管通2丁目町内会の取組(事例紹介)

☆支援者一人ひとりに過度の負担がかからないよう地域の実情に合わせ可能なことから取組を。
- 3 災害時要援護者避難支援制度説明会
 - 説明会の中で支援者(区内自主防災組織)から出された意見を市全体の関係局が集まる検討会に地域からの声として報告
- 4 第3回部会
 - 年間活動報告と振り返り
 - 課題と次年度の方向性
 - ・制度説明会の実施により、制度内容そのものに関する理解は一定程度図られたが、細やかなフォロー等についてはより具体の検討が必要。
 - 地域のコアなメンバーで支援体制や方法について率直な意見交換や検討をする「場」の必要性

【避難所開設運営訓練関係】

- 1 第1回部会
 - 取組方針発表
 - ①実施目的、②実施にあたっての考え方=今年度は中学校区単位でモデル実施、③訓練内容、スケジュール等
- 2 第2回部会
 - 取組の経過報告(実施済みの訓練について実施報告書を用いて報告)
- 3 第3回部会
 - 年間活動報告とまとめ
 - ・訓練実施状況報告(資料3)、富士見中学校訓練紹介(マンホールトイレ設置、貯水槽を利用した応急給水、NPO法人ママプラグやシルバースターの参加)
 - ・避難所開設・運営訓練アンケート結果報告(資料4)
 - 課題と次年度の方向性
 - ・アンケートで出た課題の検討+今後の訓練への反映
 - ・(今年度)中学校単位→(次年度以降)各避難所単位へ
 - ・避難所開設訓練マニュアルの活用等

